

## 福島市西部農業協同組合（JA福島市西部）



代表理事組合長	鈴木 正 一	役員数	14名
所在地	〒960-22 福島市在庭坂 字薬師田1-1	理事	11名（うち常勤 1名）
	☎0245-91-2786	監事	3名
設立年月日	昭和61年2月1日	職員数	52名（男32名 女20名）
		臨時	5名

### I 地区の概況

福島市の西約10kmに位置し、東に東北自動車道、地区内のほぼ中央をフルーツラインが縦断する。東西約20km、南北約8kmの地域である。

阿武隈高地と奥羽山脈にはさまれた盆地のため、内陸的気候の特性を持ち、夏は高温多湿で冬の寒さは厳しいが積雪は少なく農業環境は良

好である。

総面積1046haの果樹栽培の盛んな地域で、その中でも梨については、明治初期から導入され、全国屈指の産地となっている。その他、果樹を中心としながら水稲、特用作物のこんにゃく、花木などの複合経営が行われている。

## Ⅱ 50年のあゆみ

### 1 地区農業の変遷

昭和21年には農地改革が行われ、25年の専業率は68%にもなっていた。農家戸数は1000戸余で推移していた。管内の農業生産は米、養蚕、果樹、畜産などが主産物であった。特に梨は古くから導入され、庭坂地区では団地形成がされている。

40年代には、麦が激減し桃に転作された。

養蚕は古くから水保・庭塚地区で飼育されており、40年代に水保地区に稚蚕共同飼育所が建設され飼育数も増加した。養蚕農家の経営は安

定したが、50年代にはいと生糸価格の低迷から激減を辿った。

特産物のこんにゃくは、水保地区で40年代から栽培されており、折りからの健康ブームから需要が伸び価格は安定したが、60年代以降輸入物に押され価格は低迷し栽培は激減した。

さらに近年、転作々物として花卉なども導入され、周年出荷による産地形成が図られている。

一方、近年都市化が進み、農家の兼業化が急速に進行し一部においては農地の荒廃等が見られるようになった。

図表1 地区農業の変遷（農業センサスより）

項目		年次					
		25	35	40	50	60	2
総農家戸数 (戸)		1,075	1,149	1,136	1,087	1,037	965
うち 専業 (戸)		729	418	171	171	157	142
I種兼業 (戸)		229	476	535	448	284	175
II種兼業 (戸)		117	255	430	468	596	648
経営耕地面積 (ha)		1,103	1,250	1,204	1,099	1,046	963
うち 田 (ha)		464	460	455	414	361	332
畑 (ha)		339	388	329	218	233	213
樹園地 (ha)		299	401	416	464	452	416
収穫面積	稲 (ha)	465	488	470	389	307	274
	麦類 (ha)	79	134	53		1	
	野菜類 (ha)	109	98	63	72	34	30
	果実類 (ha)	145	280	294	364	385	374
	飼料用作物 (ha)	199	496		32	69	18
飼育頭数	乳用牛 (頭)	66	263	281	219	280	150
	肉用牛 (頭)	214	248	263	68	31	13
	豚 (頭)	72	112	365	683	1,171	1,598
羽数	にわとり (千羽)	2	5	6	1		
	ブロイラー (千羽)			1	121	18	1

(注) ブロイラー 50年以降は出荷羽数

## 2 経営の推移

昭和20年代は、終戦後の復興と農地改革、食糧統制の時代で、農家経済はもちろん農協経営は容易ならざるものがあった。そのような中で経営基盤の確立を図るため、自己資本の造成と貯蓄運動の展開を図った。

30年代に入り、農産物の販売の伸張から他の事業も伸び、農家経済も潤った。31年東北初の有線放送（大庭放送協会）が開通し、組合員教育と情報伝達に大きな成果を挙げた。

40年代以降、農家経営の基盤である販売事業がさらに大幅な伸びをみせ、他事業も追隨して

大きな伸びを示した。

61年の合併以後の農協経営は、水田営農活性化対策・金融自由化の進展等から平成に入って経営環境は悪化し、主要事業は大幅に落ち込んでいる。

## 3 農業協同組合の設立と合併の経過

### (1) 設立

J A福島市西部の前身は、庭坂村農業協同組合、庭塚村農業協同組合、水保村農業協同組合である。昭和23年にそれぞれの村の農業会の資産を受け継いで誕生した。

図表2 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

項目		年度						
		24	30	40	50	60	61 (合併年度)	5
正組合員戸数(戸)		1,185	1,045	1,132	1,095	1,040	1,042	1,015
准組合員戸数(戸)		67	112	146	243	247	245	339
資 産	余 裕 金	4,473	15,907	144,218	1,682,498	5,066,912	4,909,156	7,623,888
	貸 出 金	4,198	16,413	102,082	791,327	1,402,293	1,322,680	1,072,272
	その他流動資産	6,173	34,939	53,078	359,939	545,236	366,351	504,449
	固 定 資 産	2,652	4,345	22,093	261,088	473,269	496,970	414,476
	外 部 出 資	217	3,252	7,797	31,561	87,197	92,254	124,591
負 債 及 び 資 本	貯 入 金	14,002	35,298	278,385	2,566,200	6,398,467	5,996,375	8,417,180
	借 入 金	5,152	31,579	10,803	41,127	53,522	147,137	3,750
	その他負債		1,261	22,392	408,814	694,470	656,421	834,367
	出 資 金	752	6,630	16,921	93,879	294,050	338,772	367,683
	積 立 金	52	70	418	10,470	81,010	31,530	116,696
	剰 余 金	-21	18	349	5,923	53,388	17,177	
主 な 事 業 実 績	販 売 取 扱 高	23,917	67,243	227,631	1,150,351	1,646,003	1,387,999	1,035,867
	うち 米 穀		49,310	116,336	307,596	266,734	253,777	149,911
	青果物		17,114	5,512	650,351	1,124,388	1,001,878	672,933
	畜産物			20,351	12,700	16,489	14,178	1,271
	その他		819	85,432	179,697	238,392	118,165	211,752
	購 買 取 扱 高	13,267	38,881	142,772	654,201	802,058	766,138	740,398
	うち 生産資材		35,187	115,194	547,918	635,136	591,030	538,228
	生活資材		3,694	27,578	106,283	166,922	175,107	202,170
長期共済保有高			627	7,981	48,048	55,326	74,914	

(注) 合併以前の年度は合併参加農協の合計

30年前後から、農協の広域合併が関係者間において提唱され、国においても合併を助長する施策に時限立法を行うなど以来、全国的に合併が進行し、福島市においても吾妻地区4農協の合併構想が試みられた経過があったが、諸般の事情から実現に至らなかった。

(2) 吾妻4農協合併推進経過

54年、政治的、社会的、経済的变化から、農家組合員の営農と生活を守るため合併研究会を発足させ、研究を続けた。しかし、一部に時期尚早との意見があり、11月に研究会を解散した。

その後、飯坂地区の6農協合併の進展、更には変化していく時代のすう勢から組合員の営農と生活の維持向上を図るためにも、吾妻地区4農協の大同合併が必要であるとの意識が盛り上がり、57年6月に再度合併推進研究会が設置された。

この研究会で十分検討された結果、更にこれを押し進めるため58年1月26日に、吾妻地区農協合併促進協議会が設立された。同時に合併推進にあたって重要な事項を協議する3つの専門委員会（推進専門委員会、計画専門委員会、組織専門委員会）を設置し、それぞれ数回にわたり協議検討して結果、59年2月1日を目標に

新農協の発足をめざし、合併基本構想並びに合併経営計画書を組合員に示して検討をしてもらったが、福島市野田農協が脱退をし、吾妻地区4農協の合併は実現に至らなかった。

(3) 福島市西部3農協（庭塚・

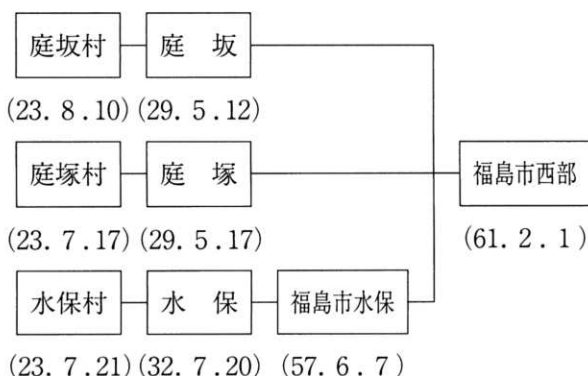
庭塚・福島市水保）合併の経過

金融自由化・高度情報化社会の進展等農業農協を取り巻く情勢が厳しく変化している中で、農家組合員の営農と生活を守るためには、今回規模では将来に向かって必ずしも理想とは言えない面もあるが、当面3農協であっても合併を進め、農業・農家・農協を巡る環境の急速な変化に対応することとし、是非西部3農協の大同合併が必要であるとの協議の上、西部3農協連絡協議会を経て60年6月5日合併促進協議会が設立された。同時に2つの専門委員会（計画専門委員会、組織専門委員会）を設置した。

合併促進協議会の推進目標に基づき財務の調整・合併農協の基本構想・経営計画書及び財務調査基準日以降合併履行日に至るまでの財産の変動について予定明細書を作成し、10月28日庭塚農協会議室において合併予備契約書に調印した。

61年2月1日めでたく福島市西部農業協同組合が誕生した。

図表3 合併等の経緯



図表4 合併参加農協の概要

組合名	組合長名	組合員数	役員数	職員数
庭坂	鈴木 正一	592	15	20
庭塚	三浦 新一	367	12	12
福島市水保	二階堂佐雄	465	10	20

## Ⅲ 年 表

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
<b>23年</b>		<b>46年</b>	
7.17	庭塚村農業協同組合設立	7.30	水保地区農業構造改善事業完成
7.21	水保村農業協同組合設立	<b>47年</b>	
8.10	庭坂村農業協同組合設立	4.	育苗センター完成（水保）
<b>27年</b>		4.	庭坂農協 育苗センター完成
1.10	婦人部結成（118名）（庭坂） 大凍霜害	11.18	給油所完成（水保）
<b>28年</b>		<b>48年</b>	
	大冷害	8.15	大庭農事有線放送廃止
12.29	生命共済加入県下第1、2号契約（庭坂）	<b>49年</b>	
<b>29年</b>		3.15	農事有線放送廃止（水保）
3.31	庭坂村と庭塚村が合併して大庭村となる	6.18	果実共選所完成（庭坂）
5.12	庭坂農業協同組合と名称変更	<b>50年</b>	
5.17	庭塚農業協同組合と名称変更		大電害
<b>31年</b>		<b>51年</b>	
2.11	東北初の有線放送（大庭農事放送協会） 開始	4.3	こんにゃく荒粉加工場完成（水保）
9.30	大庭村、野田村、水保村が合併して吾妻 村となる	<b>52年</b>	
<b>32年</b>		4.1	二階堂 勉組合長 福島五連常任監事に 就任（庭塚）
7.20	水保農業協同組合と名称変更	<b>54年</b>	
<b>34年</b>		11.21	吾妻地区農協合併研究会設立
2.28	有線放送開始（水保）	<b>55年</b>	
<b>35年</b>			冷害
6.30	共済優績 全共連表彰（水保）	7.25	共選機設置完了運転開始（庭坂）
<b>36年</b>		7.30	農業者年金推進優秀 知事表彰（庭塚）
7.8	共済優績 全共連表彰（庭塚）	11.	吾妻地区農協合併研究会解散
<b>37年</b>		<b>56年</b>	
4.23	水保果樹組合を合併（水保）		冷害
11.1	町制を施行して吾妻町となる	3.8	果樹生産者大会（水保）
12.5	農業倉庫新築（庭塚）	3.18	共済優績 共済連表彰（水保）
<b>39年</b>		6.5	降雹果実に被害発生
6.12	共済優績 全共連表彰（水保）	6.26	農構改善記念碑除幕式（水保）
11.14	阿部真一組合長 死去（庭塚）	8.23	台風24号農作物に大被害発生
<b>40年</b>		<b>57年</b>	
5.1	庭塚果樹組合を合併（庭塚）	3.15	新事務所完成（庭坂）
<b>41年</b>		4.12	オンライン稼働（庭塚）
10.5	新事務所完成（水保）	4.	オンライン稼働（庭坂）
<b>43年</b>		5.18	共済優績 全共連表彰（水保）
10.1	吾妻町が福島市に合併	5.24	オンライン稼働（水保）
<b>45年</b>		6.7	福島市水保農業協同組合と名称変更
7.21	果実共選所完成（水保）	6.11	吾妻地区農協合併推進研究会設立
9.21	庭坂果樹組合を合併（庭坂）	8.17	ガソリンスタンドオープン（庭坂）

年月日	主 な 事 績	年月日	主 な 事 績
<b>58年</b>		<b>2年</b>	
1.18	吾妻地区農協合併促進協議会設立	9.15	二十世紀梨対米輸出
4.11	共済優績 共済連表彰（水保）	10.	梨販売高10億円初突破
5.20	共済優績 全共連表彰（庭塚）	11.24	梨穂木台湾向け初出荷
6.14	新事務所完成（庭塚）	12.15	年金友の会設立総会
8. 5	果実共選所倉庫不審火焼失（庭坂）	<b>3年</b>	
9. 1	資材倉庫補修工事完成（庭坂）	3.19	果樹生産者大会（水保）
10.	吾妻地区農協合併部落座談会	3.20	果樹生産者大会（庭坂）
11.21	吾妻地区農協合併促進協議会解散	3.23	果樹生産者大会（庭塚）
12.16	西部3農協連絡協議会設立会議	4.17	水稻育苗施設落成式
<b>59年</b>		9.14	二十世紀梨対米輸出
7.30	共選機工事完成（水保）	<b>4年</b>	
8.13	全銀内為制度加盟	2.17	福島市8JA合併研究会設立総会
<b>60年</b>		3.19	果樹生産者大会（庭坂）
5.28	貯蓄優績 農林中金支所長表彰（水保）	3.25	果樹生産者大会（庭塚）
6. 5	西部地区3農協合併促進協議会設立	3.31	果樹生産者大会（水保）
10.28	合併予備契約締結	<b>5年</b>	
11.16	臨時総会（合併）	2.25	こんにやく部会生産者大会
<b>61年</b>		3.26	第1回通常総代会
2. 1	福島市西部農業協同組合発足	4.12	福島市JA合併促進協議会設立総会
4. 8	婦人部設立大会	5. 1	財務確認検査に伴う購買棚卸
5.27	貯蓄優績 農林中金支所長表彰	5. 6	福島市JA合併促進協議会事務所開き
7. 1	庭塚支所ATM稼働	5.28	福島市JA合併促進協議会
11. 1	第1回農協祭	6.11	財務確認検査
<b>62年</b>		7. 1	食材宅配事業スタート
2. 9	購買オンラインスタート	10. 1	JA新ふくしま合併予備契約調印式
3.31	第1回通常総会	10.14	合併に係る集落座談会
<b>63年</b>		10.23	臨時総会（合併）
4. 8	庄野地区土地改良記念碑除幕式 長雨 低温	10.25	JA新ふくしま第1回設立委員会
<b>元年</b>		<b>6年</b>	
2.	統一育苗センター新築	1.14	水保支所事務所・給油所移転新築落成式
6.22	庭坂支所CD稼働	1.20	臨時総会（固定資産取得）
9.19	二十世紀梨対米輸出（～20）	1.24	JA新ふくしま設立認可
		1.31	JA福島市西部解散



## IV 資 料

(平成5年度末現在)

### 1 組合員

( )は戸数

正組合員		准組合員		合 計	
個人	法人	個人	団体	個人	法・団
1,156		356	28	1,512	28
(1,015)		(339)		(1,354)	

### 2 役員及び参事

代表理事組合長	鈴木正一	理事	佐藤富英
理事	鈴木久雄	理事	二瓶四郎次
理事	小池金弥	理事	後藤喜一
理事	中原重男	監事	梅津朝雄
理事	高橋俊雄	監事	加藤栄二
理事	芳賀憲一郎	監事	穴戸仁
理事	阿部富衛		
理事	高橋利喜夫	参事	佐々木一典

### 3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
32	20	52	4	1

### 4 協力組織

名 称	代 表 者	会 員 数
農事組合		55組合
共販委員会	中原重夫	15
農青連	羽田達夫	10
婦人部	氏家スミ	406

### 5 生産部会

名 称	代 表 者	会 員 数
もも部会	鈴木久雄	322
りんご部会	児玉貢	92
なし部会	高橋俊雄	399
稲作部会	佐々木賢治	612
特産部会	穴戸幸一	19
和牛部会	梅津義行	2
花き部会	二瓶四郎次	40
植木部会	穴戸宏	10
カラー部会	加藤勉	19
リンドウ部会	田畑良夫	13

### 6 主な施設

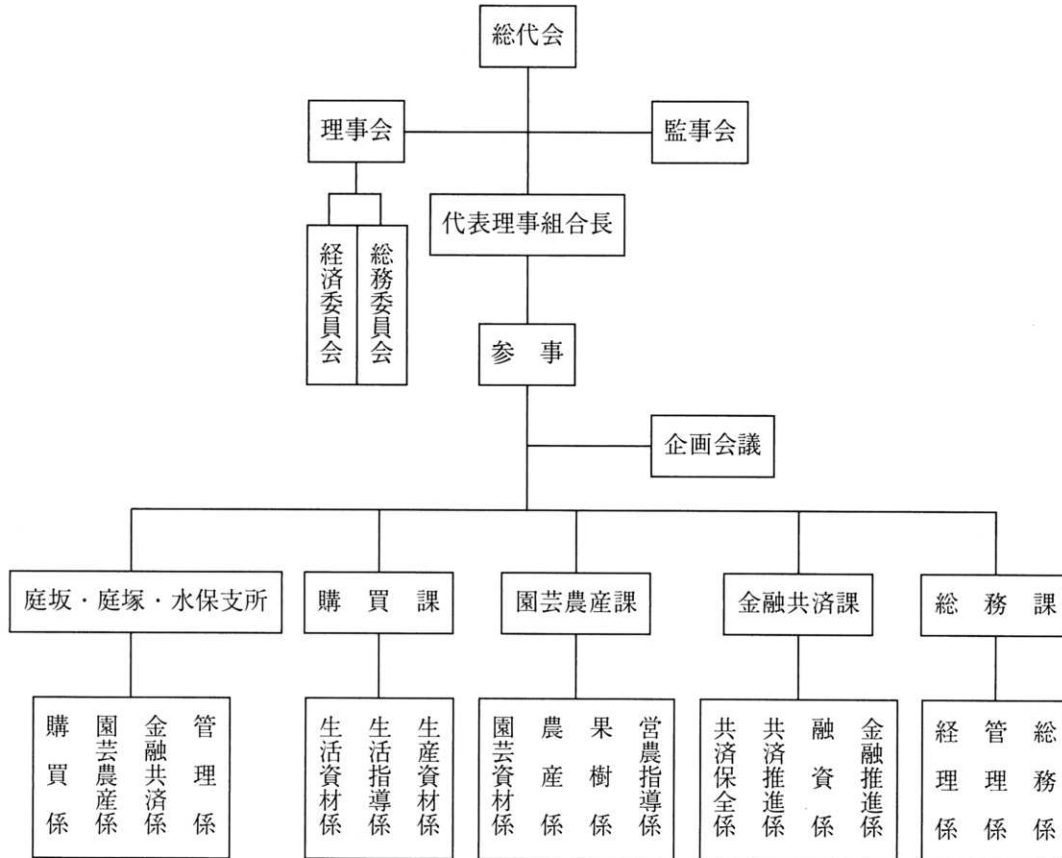
名 称	所 在 地
本所	在庭坂字薬師田1-1
庭坂支所	町庭坂字中通64-19
庭塚 〃	在庭坂字薬師田1-1
水保 〃	土船字南谷地5-2
果実共選所	町庭坂字狐林28
〃	在庭坂字薬師田1-1
〃	土船字後田4
農業倉庫	町庭坂字中通64
〃	在庭坂字南原20
〃	庄野字台ノ田9-2
購買倉庫	町庭坂字中通64
〃	庄野字太夫五郎内東8
〃	在庭坂字南原20
農薬倉庫	町庭坂字松ノ下53-2
資材倉庫	在庭坂字薬師田1-1
〃	土船字後田4-2
こんにゃく倉庫	〃字南谷地20-2
倉庫	町庭坂字松ノ下53-2
〃	在庭坂字堤63
〃	〃 字南原20-2
〃	〃 〃 17
〃	土船字南谷地20-2
共選所事務所	町庭坂字松ノ下53-2
開薬所	土船字後田10-5
格納庫	〃字南谷地20-2
給油所	町庭坂字中通64-19
〃	土船字南谷地5-2
水稻育苗センター	在庭坂字薬師田1-1

7 歴代組合長・常勤理事・参事

組 合 長		副 組 合 長	
61～2	二階堂佐雄	61～2	鈴木 正一
2～6	鈴木 正一	61～2	三浦 新一

参		事	
61～5	板井 信雄	5～6	佐々木一典

8 経営管理機構



9 合併前の歴代組合長

庭坂農協

23～29	佐藤 義吉	29～61	鈴木 正一
-------	-------	-------	-------

福島市水保農協

23～29	小池 定一	38～61	二階堂佐雄
29～38	阿部 正義		

庭塚農協

23～26	加藤 謙吉	32～39	阿部 真一
26～28	阿部 卯平	39～40	佐藤 勝治
28～30	佐藤松太郎	40～53	二階堂 勉
30～31	後藤 寅治	53～59	菅野 忠行
31～32	川村六一郎	59～61	三浦 新一